

(別記様式第 15 号)

令和 2 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

| | |
|------|-----|
| 市町村名 | 阿智村 |
|------|-----|

| No. | 事業項目 | 事業名 |
|--------------------------------------|---------------------|------------|
| 1 | みんなの暮らしを守る 森林づくり | 生活圏森林等整備事業 |
| 事業費 4,180,000 円 (うち支援金: 1,355,000 円) | | |

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

村内のいたる所で竹林や森林が伐採されずに放置されている状況が見受けられる。中でも、通学路として利用する村道等に枝が覆いかぶさりうっそうと茂り、また電線・電柱や公共施設あるいは家屋なども近くに存在し、倒伏や枝の落下で被害が発生している。

緊急に山林の環境整備を望む声が地元自治会や PTA から出ており、整備が必要な状況である。

(2) 本事業の目的

要望箇所の中から、緊急度の高い生活圏に密着した道路周辺や公共施設周辺箇所を選定し、伐採整備等を行い、以後の管理は地権者や地元自治会等関係者に管理をしてもらうことにより、森林整備への意識向上と、安全で災害に強い地域づくりを目的とする。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 阿智村智里 701-1 外

(2) 対象者 地権者 (所有者)

(3) 実施方法 支障木の択伐と枝払い

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30 年度～令和 4 年度) 約 2ha×5 年間 10ha

②令和 2 年度実績 第三小学校・伏谷団地周辺 0.6ha

着工前



着工後



【旗・看板設置】



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施による効果

道路周辺や公共施設周辺の山林を整備し、以後の管理は地権者(所有者)や地元自治会等が行うことにより、地域住民自らによる安全で災害に強い地域づくりを促す事ができた。

又、熊等獣類が出没しにくくなり住民が安心して暮らせる環境が整った。

(2) 継続性

事業を実施し、地権者や地元による管理を約束したことにより、山林に手入れをする意識の向上と必要性が周知された。

(3) 普及性

多くの住民に事業効果が明確であり森林税活用事業として評価が高い。

今後も公共性が高く行政による手入れが必要な箇所については、継続して森林整備する必要性がある。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

緊急度の高い生活圏に密着した道路や公共施設周辺箇所の伐採整備等を行った結果、特に熊等獣類が住み着く環境が回避され、住民の安全が確保された。また、山林内へのゴミ不法投棄もなくなる可能性が高い。

(2) 課題

他にも同様の問題を抱える箇所が多く点在し、行政に対応を求められるが財源不足から年間に行える事業量が限られてしまう。

現在、里山整備利用地域活動推進事業等を周知し、地元による里山整備による環境整備を推進しているが容易ではない。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

現行どおりに事業は継続する予定だが財源確保を検討し、実施規模を拡大できるよう努める。今後の事業見込については、村内全体での要望箇所は面積が3~5haと推測される。